8588 094 000
(456637)

取扱説明書 ＜別冊＞
（CD-R/RW ドライブ未搭載の MR16 専用）

CD-R/RW ドライブの使用方法

本書は取扱説明書の別冊版で、本機のリアパネルに装備されている **[USB HOST]** ポートに外部CD-R/RWドライブを接続して、CD-DAのオーディオCDを作成する方法を記載しています。外部 CD-R/RW ドライブを使ってオーディオ CD を作成するには、取扱説明書・本文と併せて本書をお読みください。

本機に接続可能な CD-R/RW ドライブについて（重要です！）

[USB] ポートを装備し、電源が単独で供給できるドライブであれば、本機の [USB HOST] ポートに接続して使用できます。
本機は、“ **USB BUS POWER 機能** ”（本機から USB ケーブルで電源をドライブ側へ供給する機能）を搭載していません。そのため、本機には “ **USB BUS POWER** ” タイプの CD-R/RW ドライブを接続することはできません。

なお、ドライブ・メーカーの事情で使用可能な機種が変更になることがあります。お手数でも、最新の使用可能なドライブ情報を当社ホームページ（**http://www.fostex.jp**）でご確認ください。

FOSTEX®

目　次

***CD-DA: Compact Disc Digital Audio の略で、一般的にオーディオ用として流通している CD の正式名称です。CD の音声記録用アプリケーション規格で、フォーマットは規格書 " Red Book " で規定されています。オーディオ信号は PCM 符号化されたステレオ・デジタル信号で、サンプリング周波数は 44.1kHz、量子化ビット数は 16 ビットで記録されます。**

ご使用前にお読みください！

外部 CD-R/RW ドライブをご使用いただく前には、必ず下記事項をお読みください。

使用可能な CD-R/RW ディスクについて

本機の [USB HOST] ポートに接続する外部 CD-R/RW ドライブでは、下記マークの付いたディスクが使用可能です。

＜ CD-R ディスク＞

新品で、かつ記録可能な領域が十分なディスクであれば、ファイナライズ処理するまで追記録が可能です（“ **Track at once** ” モードのみ追記可能）。

＜ CD-RW ディスク＞

新品で、かつ記録可能な領域が十分なディスクであれば、ファイナライズ処理するまで追記録が可能です（“ **Track at once** ” モードのみ追記可能）。

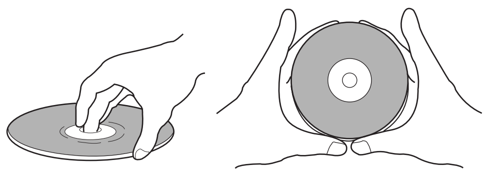
＜ CD ディスク＞

市販のオーディオ CD など、このマークが付いたディスクは TOC のみ確認でき、記録することはできません。

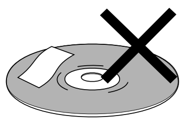
＜注意＞：外部CD-R/RWドライブでは、CD-DA フォーマットで記録したオーディオ CD（または市販のオーディオ CD）を再生することはできません。

CD-R/RWディスクの取り扱いについて

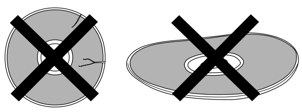
- CD-R/RW ディスクを持つ場合は、信号面に指紋やホコリ、傷などが付かないよう気を付けてください。ディスクの両端をはさむように持つか、ディスク中央の穴と端を挟んで持ってください。



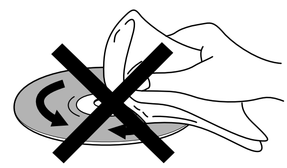
- ディスクのレーベル面に、紙やシールを貼らないでください。特に、レーベル面に傷を付けないでください。傷が付くと記録／再生ができなくなることがあります。また、レーベル面には、市販のフェルト・ペン、またはそれと同等のペン以外は使用しないでください。先の硬いペン（ボールペン、エンピツなど）などは、絶対に使用しないでください。ディスクを破損させてしまいます。



- ヒビが入ったり、反っているディスクは、絶対に使用しないでください。ドライブの故障の原因となります。



- ディスクにホコリや指紋などの汚れが付いた場合には、柔らかく乾いた布、またはエチルアルコールを含ませた布で、ディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。ディスクの円周方向へは拭かないでください。



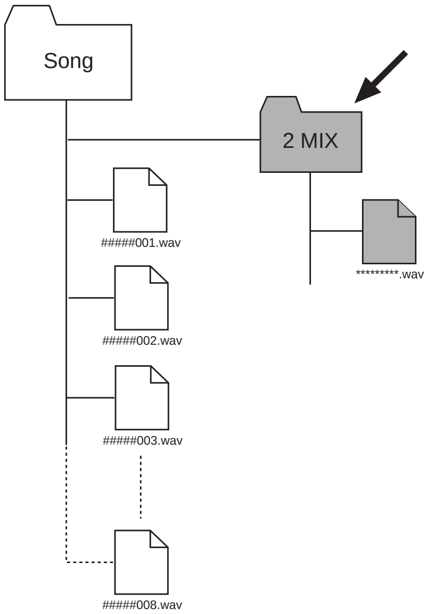
オーディオ CD に作成できるトラック・データについて

CD-DA フォーマットのオーディオ CD が作成できるのは、下記いずれかの方法でトラック 15/16 にバウンスしたデータ（完パケした曲）を、ステレオ WAV ファイルに変換したトラック・データです。

（1）　トラック 1 〜 14 をトラック 15/16 にバウンスしたモノ・ファイルを、ステレオ WAV ファイルに変換したトラック・データ

（2）　トラック 1 〜 16 を New ソングのトラック 15/16 へバウンスしたモノ・ファイルを、ステレオ WAV ファイルに変換したトラック・データ

バウンスについての詳細は、取扱説明書・本文の 75 〜 88 ページを参照し、トラック 15/16 のデータをステレオ WAV ファイルに変換する詳細は、同じく 104 〜 106 ページを参照してください。



本機では、トラック 15/16 にバウンスした曲をステレオ WAV ファイルに変換すると、その WAV ファイルは変換元のソング・フォルダー内にある “ 2MIX フォルダー ” に格納されます（左記図を参照）。詳細は取扱説明書・本文の 108 ページにも記載されています。

外部CD-R/RWドライブを使ってオーディオCDを作成するには、この “ 2MIX フォルダー ” に格納されているステレオWAVファイルのみがCD-R/RWディスクへ記録されるようになっています。

そのため、希望のステレオWAVファイルを選択するには、あらかじめステレオWAVファイルが格納されているソングを立ち上げておく必要があります（下記<注意>をお読みください）。

<覚えておきましょう！>：2MIX フォルダーに格納されているステレオ WAV ファイルは、オーディオ CD を作成する前に “ **2MIX ファイルの再生モード** ” で再生して確認したり、ステレオ WAV ファイルに CUE が登録できます。特に、ライブ録音など複数の曲が記録されているステレオ WAV ファイルをオーディオCDにする場合、各曲の頭にCUEを登録しておくことで隙間のないトラック分割が可能になります。この場合、オーディオCDを作成する過程で選択するバーニング・モードは、“ **Disk at once** ” を選択します（CUE の登録については、次ページから記載の「**ステレオ WAV ファイルの再生**」を参照してください）。

<注意>：　ステレオ WAV ファイルを再生したりオーディオ CD を作成するには、変換されたステレオ WAV ファイルが格納されているソングを立ち上げておくことが必要です（下記例を参照）。

<例>：　5 つのソング（01 〜 05）が HDD に記録されている状態で、記録したいステレオ WAV ファイルがソング 03 の “ **2MIX フォルダー** ” に格納されている場合。

⇩

操作を開始する前に必ずソング 03 を立ち上げておく。

希望のソングを立ち上げるには、MENU モードの “ **Song** ” メニューにある “ **Select Song** ” で選択します。“ **Select Song** ” の詳細は、取扱説明書・本文の 114 ページを参照してください。

オーディオ CD を作成する前に（ステレオ WAV ファイルの再生）

本機には、CD-DA フォーマットのオーディオ CD を作成するために変換したステレオ WAV ファイルを再生する、" **2MIX ファイルの再生モード** " を備えています。この再生モードを利用して、オーディオ CD を作成する前にステレオ WAV ファイルを再生して確認したり、ステレオ WAV ファイルに CUE を登録することができます。

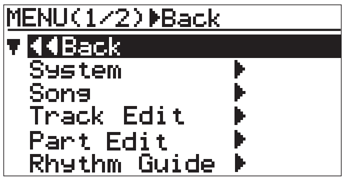
> **＜注意＞：**" **2MIX ファイルの再生モード** "は、オーディオ CD の作成用に変換したステレオ WAV ファイルがソングの" **2MIXフォルダー** "に格納され、かつそのソングが立ち上がっていることが必須です。" **2MIXフォルダー** " にステレオ WAV ファイルが格納されていないソングでは、" **2MIX ファイルの再生モード** " は機能しません。なお、" **2MIX ファイルの再生モード** " では、ステレオ WAV ファイルの再生と CUE の登録／編集のみが可能で、オーディオ・データの記録やトラック／パートなどの編集は行なえません。

● 再生するステレオ WAV ファイルの選択

現在立ち上がっているソングの" **2MIXフォルダー** "から、再生したいステレオWAVファイルを選択します。下記操作は、ステレオWAVファイルが格納されているソングが立ち上がっていることを前提にしています。

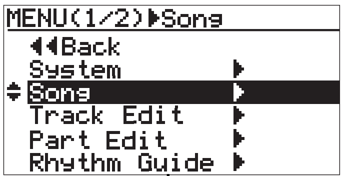
1） 停止状態で [ENTER] キーを押して、MENU モードへ入ります。

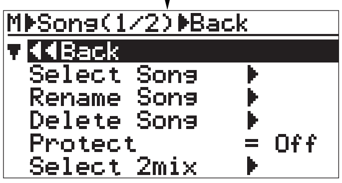
MENU 選択の 1 ページ目の画面に変ります。
初めて MENU モードへ入ったときは " ◀◀ **Back** " が反転します。



2） [MENU] ダイヤルで " Song ▶ "を選択して、[ENTER] キーを押します。

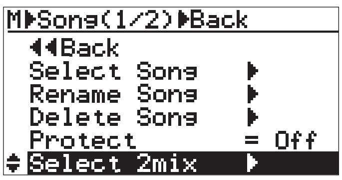
ソングの編集メニューを選択する画面に変ります。

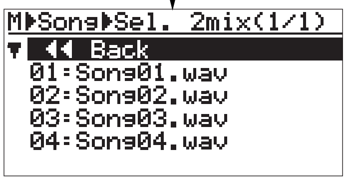




3） [MENU] ダイヤルで " Select 2mix ▶ " を選択して、[ENTER] キーを押します。

現在立ち上がっているソングの " **2MIX フォルダー** " 内にある、ステレオ WAV ファイルのリスト画面に変ります。

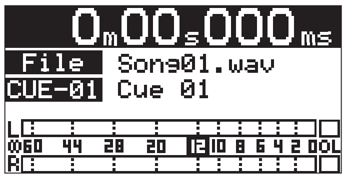




> **＜注意＞：**現在立ち上がっているソングの " 2MIXフォルダー "内に、ステレオWAVファイルが格納されていない場合は、" **No stereo files!** " のポップアップ表示が点灯した後、" **Select 2mix ▶** "が反転する画面に戻ります。このような場合は、MENU モードから一旦抜け出し、ソングを選択し直してください。

4） [MENU] ダイヤルで再生したいステレオ WAVファイルを選択して、[ENTER] キーを押します。

" **2MIX ファイルの再生モード** " の Home 画面に変ります。

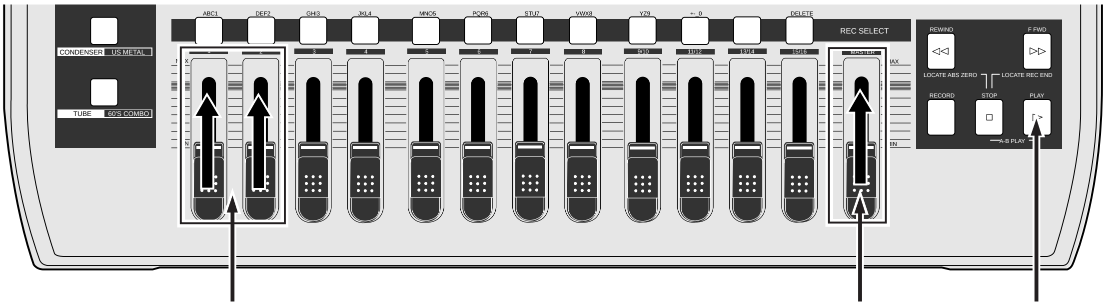


この Home画面が表示されている状態で、ステレオ WAV ファイルを再生したり、CUE が登録できます。

> **＜注意＞：**" **2MIX ファイルの再生モード** "の Home 画面から抜け出すには、操作 1 ～ 2 を実行した後、" **Select Song ▶** " を選択して [ENTER] キーを押してください。その後 [MENU] ダイヤルで希望のソングを選択して [ENTER] キーを押すと、通常のソングが立ち上がります。

● ステレオ WAV ファイルの再生

“ 2MIX ファイルの再生モード ” の Home 画面が立ち上がっている状態で [PLAY] キーを押して、ステレオ WAV ファイルを再生します。選択したステレオ WAV ファイルのトラック・データは、L チャンネルがトラック 1 に立ち上がり、R チャンネルがトラック 2 へ立ち上がります。そのため、ステレオ WAV ファイルの再生レベルは、本機のトラック 1 と 2 のフェーダーでコントロールします。



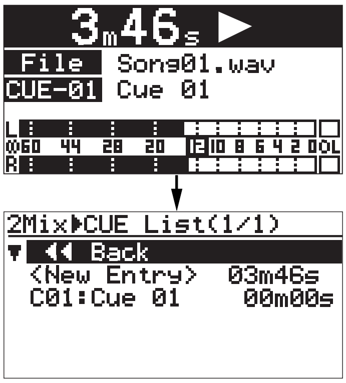
トラック 1 と 2 のフェーダー　[MASTER] フェーダー　[PLAY] キー

● CUE ポイントの登録（1 ファイル最大 99 個の CUE が登録可能）

“ 2MIX ファイルの再生モード ” では、再生しながら（または停止状態で）任意に CUE を登録することができます。CUE を登録したステレオ WAV ファイルを “ Disk at once ” でオーディオ CD を作成すると、登録した CUE リストを基に TOC (Table of contents) が作成されます（“ Disk at once ” の詳細は、後述 9 ページを参照してください）。特に、ライブ録音のように 1 つのステレオ WAV ファイルに複数の曲が記録されている場合、各曲の頭に CUE を登録することで、トラックが分割されて CD-R/RW ディスクに記録できます。

1)　[PLAY] キーを押してファイルを再生しながら、CUEを登録したい位置で [STORE] キーを押します（停止状態でも構いません）。

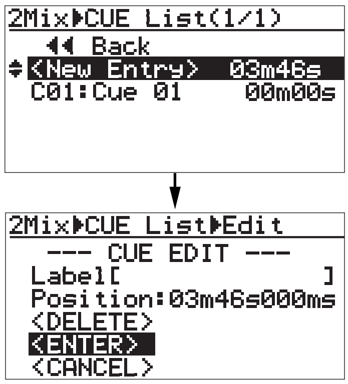
CUE リストの画面に変ります。
CUE が何も登録されていないリスト画面では、下記例のように “ **<New Entry>** ” と “ **C01** ” が表示されます。“ **<New Entry>** ” は新たな CUE を登録するときに使用し、右には **[STORE]** キーを押したときの時間が表示されます。



＜注意＞：“ **<New Entry>** ”の下に表示されている “ **C01: Cue 01 00m00s** ” は、ファイルの先頭を示す CUE で、自動的に登録されます。なお、この CUE は削除したり編集することはできません。

2)　[MENU] ダイヤルで“ <New Entry> ”を選択して、[ENTER] キーを押します。

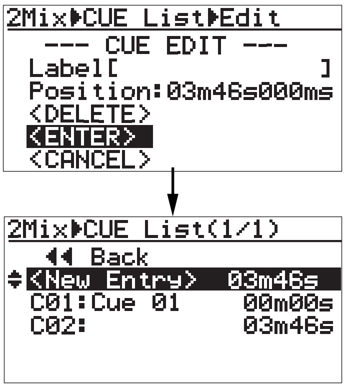
“ **<ENTER>** ” が反転する画面に変ります。



＜覚えておきましょう！＞：
上記画面の状態からつぎの操作-3を実行すると、CUE ラベルは未設定のまま登録されます。ただし、CUE の登録後でもラベルは設定可能です。CUE を登録する前、または登録後にラベルを設定するには、次ページの「CUE ラベルの入力方法」を参照してください。

3)　“ <ENTER> ” が反転している状態で、[ENTER] キーを押します。

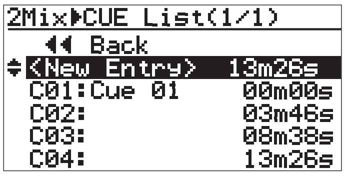
[STORE] キーを押したときの時刻が、CUE02 として登録されます。ここでは例として、CUE ラベルは空白のまま登録します。



＜注意＞： 新たに登録しようとする時間の前後4秒以内に既存のCUEが登録されている場合は、“ **Error Overlap Position!** ” のポップアップ警告が表示され、登録できません。

4） [STOP] キーを押して、“ 2MIXファイル再生モード ” の Home 画面に切り換えます。

引き続き CUEを登録するには、同じ要領で操作-1 〜操作 -4 を繰り返してください。
下記図は、再生しながら（または停止中）複数の CUE を登録した画面の例です。



なお、未設定のまま登録した CUE ラベルの設定や、タイム・データの編集、および不要なCUEを削除するには、右記および次ページの操作方法を参照してください。

5） 登録後 [STOP] キーを押すか、画面上にある “ ◀◀ Back ” を選択して [ENTER] キーを押します。

登録画面から抜け出し、“ **2MIX ファイルの再生モード** ” の Home 画面に変ります。

＜覚えておきましょう！＞：
“ **2MIX ファイルの再生モード** ” の Home 画面からソングの Home 画面に変えるには、下記操作を行ってください。

1） “ 2MIX ファイルの再生モード ” の Home画面から、[ENTER] キーを押して MENU モードへ入ります。

2） [MENU] ダイヤルで“ Song ▶ ”を選択して [ENTER] キーを押します。

3） [MENU] ダイヤルで “ Select Song ▶ ” を選択して [ENTER] キーを押します。

4） [MENU] ダイヤルで希望のソングを選択して [ENTER] キーを押します。

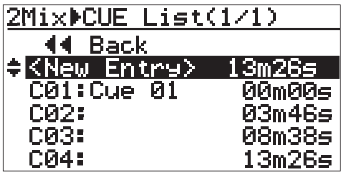
＜覚えておきましょう！＞：
CUE リスト画面から、 **[MENU]** ダイヤルで任意の CUE を選択した状態で **[LOCATE A/IN]** キー、または **[LOCATE B/OUT]** キーを押すと、登録されている CUE ポイントへ、速やかにロケートできます。

CUE ラベルの入力方法

未入力のまま登録したCUEラベルは、つぎの手順で入力します。下記操作は、“ **2MIX ファイルの再生モード** ” の Home画面が立ち上がっていることを前提にしています。

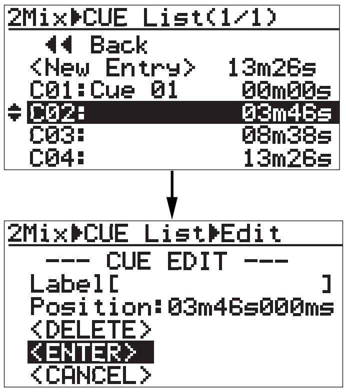
1） 停止状態で [STORE] キーを押します。

下記例のような登録画面に変ります。



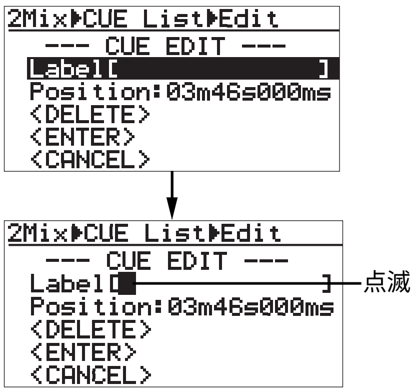
2） [MENU] ダイヤルで希望のCUEを選択して、[ENTER] キーを押します。

例として “ **C02** ” を選択すると、“ **<ENTER>** ” が反転する画面に変ります。



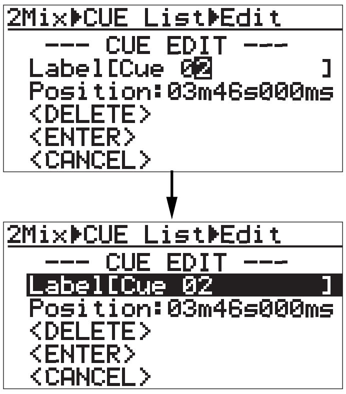
3） [MENU] ダイヤルで “ Label [ ] ” を選択して、[ENTER] キーを押します。

[ ] 内左端にカーソルが点滅して、ラベルの入力が可能になります。

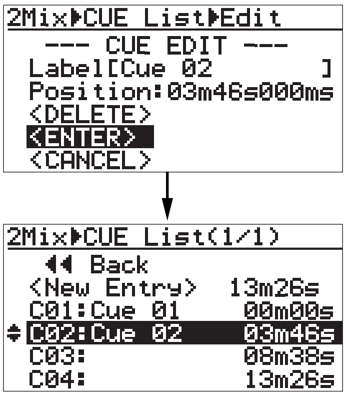


文字入力キーを使って、任意の CUE ラベルを入力します。異なった文字入力キーを押すと、カーソルは自動的に移動しますが、同じキーを使い続けて入力するときは、**[MENU]** ダイヤルでカーソルを移動してください。
ここでは例として、CUE ラベルに " **Cue 02** " を入力します。

4) 入力後 [ENTER] キーを押します。
" **Label [Cue 02]** " が反転する画面に変ります。



5) [MENU] ダイヤルで " <ENTER> " を選択して、[ENTER] キーを押します。
入力した CUE ラベルが登録され、下記画面に変ります。



他のラベルを登録する場合、あるいは登録済みラベルを修正する場合は、同じ要領で操作を繰り返してください。

6) 登録後 [STOP] キーを押すか、画面上にある " ◀◀ Back " を選択して [ENTER] キーを押します。
登録画面から抜け出し、" **2MIX ファイルの再生モード** " の Home 画面に変ります。

" **2MIX ファイルの再生モード** "から抜け出すには、前述 7 ページ記載の＜**覚えておきましょう！**＞を参照して、希望のソングを選択してください。

登録済み CUE のポジションを編集

前述の「CUE ラベルの入力方法」と同じ要領で、登録済みCUEのポジション（時刻）を編集します。下記操作は、前述と同様CUEの登録画面が表示されていることを前提にしています。

1) CUE の登録画面から、編集したい CUE を選択して [ENTER] キーを押します。

2) [MENU] ダイヤルで" Position "を選択して [ENTER] キーを押します。
登録済み時刻 " *****ms** " の " ******* " が点滅します。

3) 点滅している桁で、[MENU] ダイヤルを使って数値を入力すると、桁が繰り上がっていきます。
編集する桁は **[REWIND]** キーまたは **[F FWD]** キーで移動できます。

4) 編集後 [ENTER] キーを押して、入力したタイム・データを確定します。

5) [MENU] ダイヤルで " <ENTER> " を選択した後、[ENTER] キーを押して再登録します。

6) 登録後 [STOP] キーを押すか、[MENU] ダイヤルで画面上にある" ◀◀ Back "を選択して [ENTER] キーを押します。
登録画面から抜け出し、" **2MIX ファイルの再生モード** " の Home 画面に変ります。

" **2MIX ファイルの再生モード** "から抜け出すには、前述 7 ページ記載の＜**覚えておきましょう！**＞を参照して、希望のソングを選択してください。

登録済み CUE の削除

同じ要領で、登録済みのCUEを削除します。下記操作は、前述と同様CUEの登録画面が表示されていることを前提にしています。

1) CUE の登録画面から、削除したい CUE を選択して [ENTER] キーを押します。

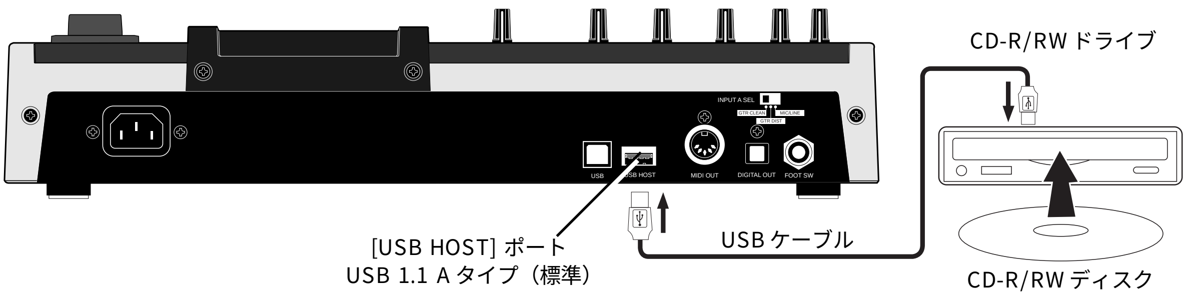
2) [MENU] ダイヤルで" <DELETE> "を選択して [ENTER] キーを押します。
選択した CUE が削除された、登録画面に変ります。

3) 削除後 [STOP] キーを押すか、画面上にある " ◀◀ Back " を選択して [ENTER] キーを押します。
登録画面から抜け出し、" **2MIX ファイルの再生モード** " の Home 画面に変ります。

" **2MIX ファイルの再生モード** "から抜け出すには、前述 7 ページ記載の＜**覚えておきましょう！**＞を参照して、希望のソングを選択してください。

オーディオ CD の作成

外部 CD-R/RW ドライブは、専用の USB ケーブル（本機には付属しておりません）を使って、下記図の要領でリアパネル部にある **[USB HOST] ポート**へ接続します。



“ Track at once ” と “ Disk at once ” について

CD-DA のオーディオ CD を作成する場合、作成の過程で Burning mode（バーニング・モード）を用途に応じて選択します。バーニング・モードには、下記２つのモードがあります。

“ Track at once ”

ステレオ WAV ファイルの記録終了後、ディスクをファイナライズするまで「追記」が可能なモードです。一曲記録するごとに TOC が作成され、複数の曲を記録して作成したオーディオ CD は、各曲間に約２秒の無音（ミュート）が自動的に記録されます。

“ Disk at once ”

１つのステレオ WAV ファイルを記録終了後、自動的にディスクをファイナライズするモードで、「追記」はできません。なお、前述の “ 2MIX ファイルの再生モード ” で、あらかじめステレオ WAV ファイルに CUE リストが登録されていると、CUE リストを基に TOC が作成されて隙間のないトラック分割が行われてオーディオ CD が作成されます（注意：CUE リストのないままオーディオ CD を作成した場合は、トラックは分割されません）。

下記操作手順は、あらかじめつぎの準備が整っていることを前提にして記載されています。

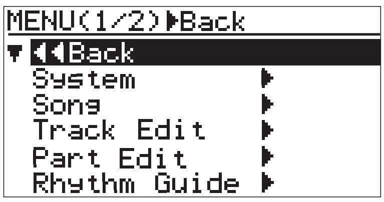
●本機と CD-R/RW ドライブが USB ケーブルで正しく接続され、双方の電源がオンになっている。
●オーディオ CD を作成するためのステレオ WAV ファイルが格納されているソングが、立ち上がっている。

1）　外部 CD-R/RW ドライブに、未記録のディスクをセットします。

トレイの開閉は、ドライブ側で操作します。

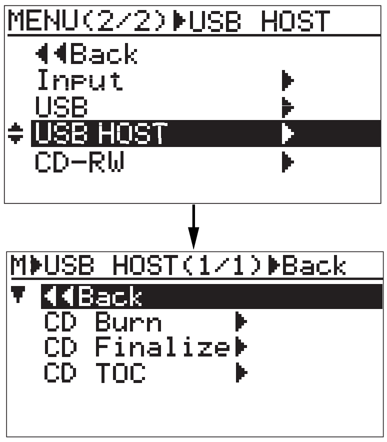
2）　停止状態で [ENTER] キーを押して、MENU モードへ入ります。

MENU 選択の１ページ目の画面に変ります。



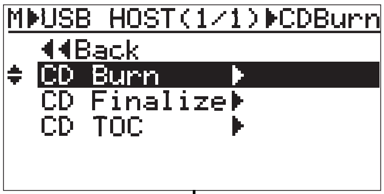
3）　[MENU] ダイヤルで MENU 選択の 2 ページ目にある “ USB HOST ▶ ” を選択して、[ENTER] キーを押します。

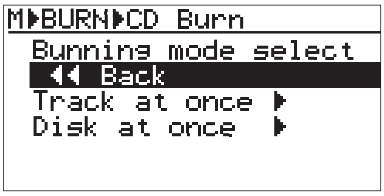
USB HOST メニューの選択画面に変ります。



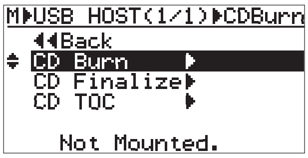
4) [MENU] ダイヤルで“ CD Burn ▶ ”を選択して、[ENTER] キーを押します。

バーニング・モードの選択画面に変ります。
用途に応じて “ **Track at once** ” または “ **Disk at once** ” を選択します（前ページを参照)。





<注意>： [MENU] ダイヤルでUSB HOST メニューを選択したとき、画面下に “ **Not Mounted** ”が点灯するときは、本機とCD-R/RW ドライブが正しく接続されていないことを示しています。



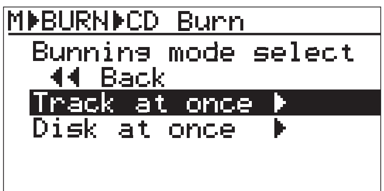
この状態で [ENTER] キーを押すと、下記ポップアップ表示が点灯して警告します。

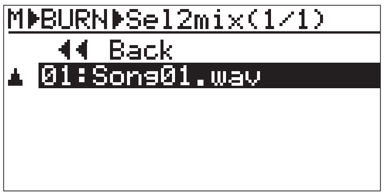


このような場合には、本機のHDDおよびCD-R/RWドライブのアクセスが停止している状態で、USB ケーブルを抜き差ししてください。その後、“ **Not Mounted** ”が点灯しないことを確認して、[ENTER] キーを押してください。

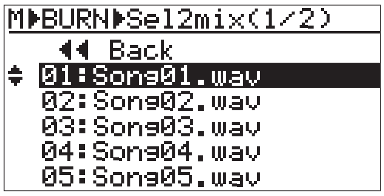
5) [MENU] ダイヤルでバーニング・モードを選択して、[ENTER] キーを押します。

現在立ち上がっているソングの “ **2MIX フォルダー** ” 内にある “ **ステレオ WAV ファイル** ” の選択画面に変ります。下記図例は、フォルダー内に1つのWAVファイルが格納されていることを示しています。





<注意>： “ 2MIX フォルダー ”内に複数のステレオ WAV ファイルが格納されている場合は、下記例のようにファイル・リストが表示されます。[MENU] ダイヤルで希望のステレオ WAV ファイルを選択して、“ CD Burn ” が実行できます（ファイル・リストは、最大 10 個まで表示可能です)。

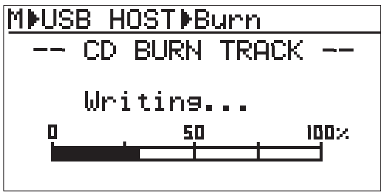


6) [MENU] ダイヤルで希望のWAVファイルを選択して、[ENTER] キーを押します。

CD-R/RWディスクへの書き込みが始まり、選択したバーニング・モードによって、それぞれつぎのような画面に変ります。

ディスクへの書き込み中は“ **Writing...** ”が点灯し、HDD のアクセスを示す “ **ACC** ” が点滅します。また、CD-R/RW ドライブの ACCESS LED も点滅しますので、このような状態にあるときは、絶対に電源を切ったり、ドライブのイジェクト・キーを操作しないでください。

なお、データの書き込み中は、本機の操作キーは一切受け付けません。



< Track at once での書き込み中>



< Disk at once での書き込み中>

＜注意＞： 選択したステレオWAVファイルの容量が、現在セットされている CD-R/RW ディスクの記録可能な容量より大きい場合は、下記ポップアップ表示が点灯して、書き込みできません（**[ENTER]** キーを押すと表示は消えます）。容量の大きいディスクと交換してから、再度同じ操作を行ってください。

```
Not Enough Remain
Press ENTER Key
```

ディスクへの書き込みが全て終了すると、それぞれ下記画面に変わり " **Completed !** " が点灯してアクセスも停止します。

```
M▶USB HOST▶Burn
 -- CD BURN TRACK --

     Completed!
0        50       100%
Press ENTER Key!
```

＜ Track at once での記録終了時＞

```
M▶USB HOST▶Burn
 -- CD BURN DISK --

     Completed!
0        50       100%
Press ENTER Key!
```

＜ Disk at once での記録終了時＞

7） 表示に従って、[ENTER] キーを押します。

USB HOST メニューを選択する画面に戻り、" **CD Burn ▶** " が反転します。

```
M▶USB HOST(1/1)▶CDBurn
  ◀◀Back
♦ CD Burn     ▶
  CD Finalize▶
  CD TOC      ▶
```

" **Disk at once** " で記録した場合は、記録終了後自動的にファイナライズ処理され、ディスクがイジェクトされます。必要に応じて、14 ページ記載の **「ファイナライズ後の TOC 情報を確認」** で、TOC 情報を確認してください。

" **Track at once** "で記録した場合は、つぎの操作-8 でファイナライズが必要です。ただし、複数のステレオWAVファイルを引き続き記録する場合には、上記画面の状態から操作 -4 〜 6 を繰り返し、全ての記録終了後にファイナライズを実行してください。なお、" **Track at once** " で記録したときは、ファイナライズする前でも後でも、TOC 情報が確認できます。特に、複数のステレオWAV ファイルを記録する場合は、TOC 情報でディスクの記録可能な容量（リメイン）を確認しながら作業することをお勧めします（13 ページ参照）。

8） [MENU] ダイヤルで " CD Finalize ▶ " を選択して、[ENTER] キーを押します。

ファイナライズを実行するかどうかを選択する画面に変り、" **[CANCEL]** " が反転します。
ファイナライズを実行するには" **[EXECUTE]** "を選択し、中止するときは " **[CANCEL]** " を選択します。

```
M▶USB HOST(1/1)▶Finlz
  ◀◀Back
  CD Burn     ▶
♦ CD Finalize▶
  CD TOC      ▶
```

↓

```
M▶USB HOST▶Finalize
  -- CD FINALIZE --
 If you finalized the
 disk,you cannot reco
 -rd more.
    Are you sure?
 [EXECUTE] [CANCEL]
```

9） [MENU] ダイヤルで " [EXECUTE] " を選択して、[ENTER] キーを押します。

ファイナライズの実行画面に変ります。
ファイナライズが終了すると" **Completed** "が点灯して、CD-R/RW ドライブから自動的にディスクがイジェクトされます。

```
M▶USB HOST▶Finalize
  -- CD FINALIZE --
 If you finalized the
 disk,you cannot reco
 -rd more.
    Are you sure?
 [EXECUTE] [CANCEL]
```

↓

```
M▶USB HOST▶Finalize
  --- USB HOST ---

    Finalizing...
```

↓

```
M▶USB HOST▶Finalize
  --- USB HOST ---

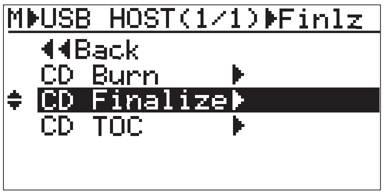
     Completed!

  Press ENTER Key!
```

＜注意＞： " **Track at once** "で記録したディスクをファイナライズすると、追記録できなくなります。イジェクトされたディスクをドライブに再ロードして追記しようとすると、" **Already Finalized** "のポップアップ表示が点灯して、記録することができません。

10） 画面の指示に従って、[ENTER] キーを押します。

USB HOST メニューを選択する画面に戻り、“ **CD Finalize ▶** ” が反転します。



ファイナライズ終了後TOC情報を確認するには、14ページ記載の「**ファイナライズ後のTOC情報を確認**」を参照してください。

11） [STOP] キーを押して、MENUモードから抜け出します。

画面上にある “ **◀◀ Back** ” を選択して **[ENTER]** キーを押す操作を繰り返すことでも、MENUモードから抜け出すことができます。

＜覚えておきましょう！＞

“ **Track at once** ” または “ **Disk at once** ” で作成したオーディオ CD は、下記図のように CD-R/RW ディスクに記録されます。

- **１つのステレオ WAV ファイルを “ Track at once ” で作成した場合：**



- **“ Track at once ” で 4 つのステレオ WAV ファイルを追記して作成した場合：**
トラック間に 2 秒の無音が作成されて分割されます。



- **CUE01 (C01)のみが登録されているステレオ WAV ファイルを、“ Disk at once ” で作成した場合：**



- **CUE01 (C01)以外に 3 つの CUE を登録したステレオ WAV ファイルを、“ Disk at once ” で作成した場合：**
トラック間に無音が無く分割されます。



TOC 情報の確認

TOC 情報は、記録したディスクのファイナライズ処理前でも、ファイナライズ処理後でも確認することができます（" **Disk at once** " で記録したディスクはファイナライズ処理後のみ）。
特に、" **Track at once** " で複数のステレオ WAV ファイルを追記するときは、CD-R/RW ディスクの記録可能な容量（リメイン）を確認しながら作業することをお勧めします。

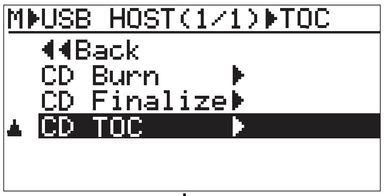
> ***TOC**：Table of contents の略で、音楽 CD のトラック（曲）数や、演奏時間などを管理するデータ領域を意味しています。

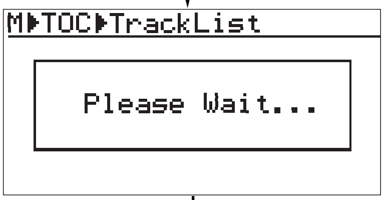
● ファイナライズ処理前の TOC 情報を確認（" Track at once " で記録したディスクのみ）

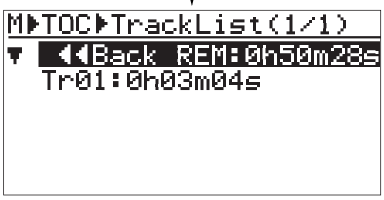
下記操作は、前述の「オーディオ CD の作成」において、" **Track at once** " で記録したファイナライズ処理前の状態で、ディスプレイには " **CD Burn ▶** " が反転していることを前提にしています。

1） " CD Burn ▶ " が反転している状態から [MENU] ダイヤルで " CD TOC ▶ " を選択して、[ENTER] キーを押します。

" **Please wait...** " を表示した後、記録した曲の記録時間とリメインを表示する画面に変ります。







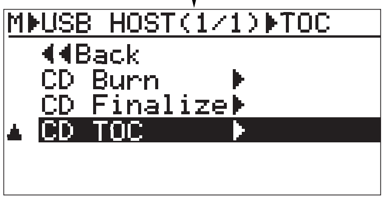
＜注意＞： " **Track at once** " で複数のステレオ WAV ファイルを連続して記録したディスクでは、下記例のようにTOC情報が表示され、リメインも確認できます。



2） TOC情報を確認したら、[MENU] ダイヤルでカーソルを" ◀◀ Back "に移動して、[ENTER] キーを押します。

" **CD TOC ▶** " が反転する画面に変ります。





TOC 情報の確認後 " **Track at once** " モードで追記するには、" **CD BURN ▶** " を選択して **[ENTER]** キーを押した後、前述と同様他のステレオ WAV ファイルを選択して記録を続けます（前述 8 ページを参照してください）。

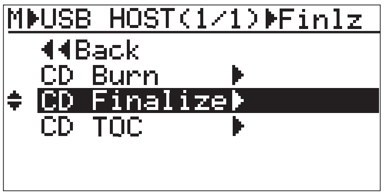
また、TOC 情報の確認後ディスクをファイナライズするには、" **CD Finalize ▶** " を選択して **[ENTER]** キーを押してください（前述11ページを参照してください）。

● ファイナライズ処理後の TOC 情報を確認

下記操作は、前述の「オーディオ CD の作成」において、“ **Disk at once** ” で記録後自動的にファイナライズされたディスク、または “ **Track at once** ” で記録後ファイナライズしたディスクが CD-R/RW ドライブからイジェクトされている状態で、ディスプレイは “ **CD Finalize ▶** ” が反転していることを前提にしています。

1)　イジェクトされている CD-R/RW ドライブのトレイを、クローズします。

ドライブのトレイ前面を、手で軽く押し込んでください。ディスクをロードして、ディスプレイは “ **CD Finalize ▶** ” が反転しています。

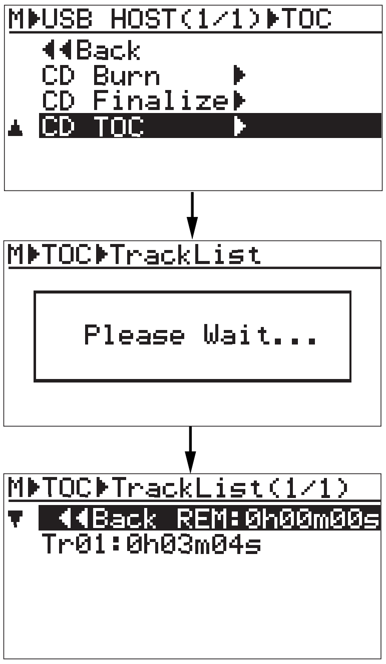


＜注意＞： トレイをクローズすると、ドライブがディスク情報を読み込むため、アクセス LED が点滅します。そのため、ドライブのアクセスが完全に停止して、アクセスLED が消灯していることを確認してから操作してください。

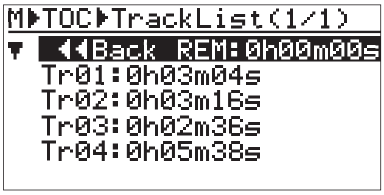
2)　[MENU] ダイヤルで “ CD TOC ▶ ” を選択して、[ENTER] キーを押します。

“ **Please wait...** ” が点灯した後、前述の「**ファイナライズ処理前の TOC 情報を確認**」と同様、現在記録されているトラックの TOC 情報を表示します。

ファイナライズ処理した後の TOC 情報では、リメインの値が “ **0h00m00s** ” を表示します。
これは、ファイナライズ処理した後のディスクには、これ以上追記録できないことを示しています。



＜注意＞：“ **Track at once** ”で複数のステレオ WAV ファイルを連続して記録したディスクや、“ **Disk at once** ” で CUE リストを基に TOCを作成したディスクでは、下記例のようにTOC情報が表示されます（もちろんリメインは “ **0h00m00s** ” になります）。



3)　TOC情報を確認したら、[STOP] キーを押して MENU モードから抜け出します。

Home 画面に変ります。

＜覚えておきましょう！＞： 本機で作成したオーディオ CD 以外に、市販のオーディオ CDも TOC が確認できます（注意：一部TOC が表示されない市販ディスクもあります）。

CD-R/RW ドライブに市販のディスクをロードして、MENU モードの “ **USB HOST** ” メニューを使って、前述同様の操作を行ってください。なお、本機で確認できる市販ディスクのTOC情報は、トラック数と記録時間のみで、トラックのタイトルなどは表示しません。

FOSTEX フォステクス　カンパニー
国内営業グループ
〠 196-0021 東京都昭島市武蔵野 3-2-35
☎ 042-546-6355　FAX. 042-546-6067

© PRINTED IN CHINA JANUARY 2007 8588 094 000
(456637)